

挿 話

『初日犠牲者』

おいしそうな匂いがします。

あなたは『これ』が、とてもおいしいものだと知っています。

生きているものは、ぜんぶ、素晴らしいおいしくて。

でも、食べたらなくなってしまうから。あなたはずっと我慢していました。

おいしそうな匂いがします。

あなたは、ずっと、我慢していました。我慢していました、けれど。

血の、命の、その匂いが。あまりにもおいしそうで。

おいしい匂いを前に、あなたはついに、我慢ができませんでした。

1日目・夜



『初日犠牲者』

店主／アルヴァンが死体となって発見されました。

2日目・朝

行商

シユクル Sukur

- 20:00 酒場： 酒を飲みながら夕食。メニューはスパイシーチキン、たらふくスマートチーズ。
- 20:30 酒場： 店じまいを理由に酒場を追い出される。まだ食べ終わってなかったのに！
- 21:00 教会： 司祭／マキシアに禁制品の蜂蜜と酒のタネを持っていたことについて説教される。
- 21:30 教会： 説教から解放される。疲れた頭をふらふらとさせながら森に帰る。
- 22:00 森： 森の中で倒れている店主／アルヴァンを発見。**食い殺す**。
- 22:30 森： 鍛冶／ドミノと魔女／リタの声を聞き、遭遇しないようにねぐらに戻る。
- 23:00 森： ねぐらの洞穴にて就寝。

タイムライン

物

あなたはこれが何なのかよくわからない。

穴の部分は手が通る大きさで、
握りこむのにちょうどいい。
酒場で鍛冶／ドミノの道具袋に似たものが
入っていたのを見た気がするが、
使っているところを見たことはない。

あなたはこれを店主／アルヴァンの
遺体のそばで拾った。

金属の輪